

作成日 2019年04月03日

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：Engine Tune-up and Flush

製品番号 (SDS NO)：4018\_JP-1

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：自動車用エンジンオイル添加剤

使用上の制限：4サイクルガソリンエンジン及びディーゼルエンジン専用

供給者情報詳細

供給者：バーダルエーアンドエル株式会社

住所：山梨県上野原市上野原964 富岳通運ビル4F

電話番号：0554-62-6015

FAX：0554-62-6017

緊急連絡先電話：0554-62-6015

## 2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体：区分 4

健康に対する有害性

吸引性呼吸器有害性：区分 1

(注) 記載なきGHS分類区分：該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

可燃性液体

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

注意書き

安全対策

熱/火花/裸火/高温などの着火源から遠ざけること。ー禁煙。

保護手袋及び保護面を着用すること。

応急措置

火災の場合：指定された消火剤を使用すること。

無理に吐かせないこと。

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。

貯蔵

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の物理的及び化学的危険性

高温になると引火、燃焼する恐れがある。

## 3. 組成及び成分情報

混合物/単一化学物質の選択：  
混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
ジプロピレングリコールモノメチルエーテル	34590-94-8	1-5	2-426; 7-97
ミネラルオイル	非公開	1-5	非公開
石油留分	非公開	≥ 80	非公開

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

記載なき成分は日本公表危険物質リスト(NITE 平成29年度)に該当しません。

## 危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

ジプロピレングリコールモノメチルエーテル, ミネラルオイル

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

ジプロピレングリコールモノメチルエーテル, ミネラルオイル

## 4. 応急措置

## 応急措置の記述

## 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

## 皮膚(又は髪)に付着した場合

汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。

多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。

## 眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。

## 飲み込んだ場合

無理に吐かせないこと。

直ちに医師に連絡すること。

## 医師に対する特別な注意事項

症状に応じた治療を施す。

## 5. 火災時の措置

## 消火剤

## 適切な消火剤

火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

## 不適切な消火剤

噴流水を消火に用いてはならない。

## 特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

引火性の液体である。

## 消火を行う者への勧告

## 特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

## 消火を行う者の保護

防火服/防災服/耐火服を着用すること。

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

## 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 関係者以外は近づけない。
- 適切な保護具を着用する。
- 着火源を取除くとともに換気を行う。
- 漏出物を皮膚や眼に接触させないこと。

## 環境に対する注意事項

- 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
- 下水、排水中に流してはならない。
- 河川等に流出した場合は、管轄機関に連絡をする。

## 封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。
- 多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。
- 回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

## 二次災害の防止策

- 着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
- 排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

## 技術的対策

## (取扱者のばく露防止)

- ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

## (火災・爆発の防止)

- 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。

## 注意事項

- 皮膚に触れないようにする。
- 眼に入らないようにする。

## 安全取扱注意事項

- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- 保護手袋及び保護面を着用すること。
- 取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。
- 取扱中は飲食、喫煙してはならない。

## 配合禁忌等、安全な保管条件

## 適切な保管条件

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 涼しいところに置き、日光から遮断すること。
- 施錠して保管すること。
- 乳幼児の手の届かないところに保管すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

## 管理指標

## 管理濃度データなし

## 許容濃度

日本産衛学会の許容濃度データなし

(ジブロピレングリコールモノメチルエーテル)

ACGIH(1979) TWA: 100ppm;

STEL: 150ppm (眼及び上気道刺激; 中枢神経系損傷)

(石油留分)

ACGIH(2007) TWA: 100mg/m<sup>3</sup>(IFV) (皮膚炎)

注釈(症状、摂取経路など)  
 (石油留分)  
 皮膚吸収  
 (ジプロピレングリコールモノメチルエーテル)  
 皮膚吸収

#### ばく露防止

##### 設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。  
 手洗い/洗顔設備を設ける。

##### 保護具

##### 呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

##### 手の保護具

保護手袋を着用する。推奨材質：非浸透性もしくは耐化学品ゴム

##### 眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

##### 皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

##### 衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。  
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。  
 取扱い後はよく手を洗う。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

#### 物理的状態

形状：液体  
 色：褐色  
 臭い：特有臭

#### 物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

融点/凝固点：適用外  
 引火点：(ペンスキーマルテンス密閉式) 62.2°C  
 比重/密度：0.844  
 動粘度：3.8 mm<sup>2</sup>/s(40°C)

## 10. 安定性及び反応性

### 化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

### 避けるべき条件

高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。

## 11. 有害性情報

### 毒性学的影響に関する情報

急性毒性データなし

### 局所効果

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(ジプロピレングリコールモノメチルエーテル)

ラビット 軽度な角膜刺激性 (ACGIH 7th, 2001)

感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

(石油留分)

ACGIH-A3(2007): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(石油留分)

EU-発がん性カテゴリ2: ヒトに対する発がん性が疑われる物質

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(ジプロピレングリコールモノメチルエーテル)

気道刺激性 (ACGIH 7th, 2001)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(ジプロピレングリコールモノメチルエーテル)

麻酔作用 (ACGIH 7th, 2001)

吸引性呼吸器有害性データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生毒性(急性) 成分データ

[日本公表根拠データ]

(ジプロピレングリコールモノメチルエーテル)

甲殻類 (オオミジンコ) LC50=1919mg/L/48hr (SIDS, 2004)

水溶解度

(ジプロピレングリコールモノメチルエーテル)

100 g/100 ml (PHYSPROP\_DB, 2011)

(石油留分)

0.0005 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2004)

残留性・分解性データなし

生体蓄積性

(石油留分)

log Pow > 3.3 (ICSC, 2004)

土壌中の移動性データなし

オゾン層破壊物質データなし

## 13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

承認された廃棄物集積場で処理する。

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

## 14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号に該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

IMDG Codeに該当しない

IATA 航空危険物規則書

IATA 航空危険物規則書に該当しない

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(Z類)

ジプロピレングリコールモノメチルエーテル

## 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない製品

有機溶剤等に該当しない製品

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

ミネラルオイル(別表第9の168); ジプロピレングリコールモノメチルエーテル(別表第9の601)

名称通知危険/有害物

ミネラルオイル(別表第9の168); ジプロピレングリコールモノメチルエーテル(別表第9の601)

別表第1 危険物 (第1条、第6条、第9条の3関係)

危険物・引火性の物 (30°C ≤ 引火点 < 65°C)

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法

第4類 引火性液体第2石油類 危険等級 III(指定数量 1,000L)

化審法に該当しない。

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

## 16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN

IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)

IATA 航空危険物規則書 第60版 (2019年)

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2018 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

JIS Z 7252 (2014年)

2018 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

GESTIS-Stoffdatenbank

Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ（NITE 平成29年度）です。